第18回高松市ダイヤゾーン・ボール大会

大会テーマ 【ニュースポーツで始める・地域の輪・仲間づくり】

【大会趣旨】

「いつでも、どこでも、だれとでも」手軽なニュースポーツのダイヤゾーン・ボールを競技として確立し普及するとともに、 体力づくりや健康の増進を図り、市民の交流を深めることを目的とする。

主 催 高松市 公益財団法人高松市スポーツ協会 コミュニティスポーツ専門部

主 管 高松市スポーツ推進委員連絡協議会

後 援 NHK高松放送局 四国新聞社 RNC西日本放送 KSB瀬戸内海放送

協 賛 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

日 時 令和7年11月23日(日) 受付 8:00 開会式 8:20

※開会式が中止になる場合は、受付8:30 第1試合9:00となりますので、事前にスポーツ推進委員より、参加チームに連絡します。

場 所 高松市香川総合体育館(香川町)

参加資格 各校区(地区)に在住している18歳以上の社会人

参 加 料 1チーム 5,000円 (申込時に納入すること。)

チーム編成

1チーム8名以内(キャプテン・競技者5名、交代要員2名まで)とし、男女混合可とする。また、キャプテンは選手を兼ねることができる。但し、当該小学校区(地区)内に居住する者だけでチームを編成できない場合は、当該小学校を含む中学校区内に居住する者をチームに1名補充し、参加することができる。なお、鶴尾、一宮、下笠居、香南、庵治小学校区において、同一小学校区内に居住する者だけでチームを構成できない場合は、隣接する小学校区(鶴尾は亀阜、栗林、太田、太田南、一宮、檀紙、弦打/一宮は鶴尾、檀紙、円座、大野、仏生山、太田南/下笠居は香西、鬼無、国分寺北部/香南は川岡、大野、川東/庵治は牟礼北、牟礼南)に居住する者をチームに補充し、参加することができる。

チーム登録 各小学校区(地区)1チーム以内

スポーツ振興課(市役所7階)TEL 839-2626まで大会申込書に参加料を添えて申し込むこと。

※メンバーの変更・追加については、大会当日の受付時に、変更後の内容を記載した参加申込書を 受付に提出すること。試合中の変更・追加は受け付けない。

抽 選 令和7年11月6日(木)理事会時に、スポーツ推進委員による代理抽選とする。

競技方法 試合は予選リーグを経て、決勝トーナメント方式にて優勝チームを決定する。

表 彰 チーム:優勝・準優勝・3位(決定戦を行う)

審判員 高松市スポーツ推進委員

大会規則

- ① 選手は背番号をつけること。
- ② コートは20m×15mとする。
- ③ 試合開始時刻に集合できなかった場合及び参加資格に違反した場合は、その試合を没収とし、 得点は60対0とする(第7回の大会、予選の平均得点)。
- (4) 試合中、選手の交代は、緊急時及び前後半のコートチェンジ時以外は出来ない。
- ⑤ 抽選により各ブロックに分かれ、ブロック毎の勝数上位チームが決勝トーナメントへ進出する。 勝数が同じの場合は、以下の方法により勝敗を決定する。
 - (1)直接対決勝者
 - (2)ホールインワンの多いチーム
 - (3)ホールアウトの多いチーム
 - (4)2得点の多いチーム
 - (5)ゾーン得点の多いチーム

上記で決定しない場合は抽選とする。

決勝トーナメントの試合方法は、出場チーム数確定後主催者が決定する。

- ⑥ プレイ中は打撃をしている選手以外は、コート内に入ってはいけない。
 - (1) 選手は主審が番号をコールするまで、コートには入らない。
 - (2) プレイ中の打順間違いは、ノープレイとする。
 - (3) 選手は打撃終了後、すみやかにコートをでる。
- ⑦ プレイ中とは、打撃通告よりコート内に入場し、次打者の打撃コールまでとする。
- ⑧ ゲートへの逆方向からの通行は自球、他球も誤打球とする。
- ⑨ 選手は打撃通告及び得点コール後、20秒以内に打撃をすること。20秒経過後は打撃権を失う。
- ⑩ キャプテン、選手は審判への抗議は一切出来ない。
- ① 試合開始・終了時間は競技場毎とする。
- ② 競技時間は、予選リーグ・決勝トーナメントともに前後半20分とする。
- ③ 大会当日、主催上問題等支障があった場合は、主催者側にて対応を行う。
- * 上記以外の事項については、2015年度ダイヤゾーン・ボール競技規則改定版を適用し、想定外の案件については主催者側で決定し通知する。

その他

- (1) 主催者側は、応急処置しかその責を負わない。
- ② 参加選手は、スポーツ傷害保険に加入することが望ましい。
- ③ ゼッケン(1~10)は各チームで準備すること。
- ④ 控え選手は所定の場所で待機すること。

※個人情報の取り扱いについて※

- ・大会申込により取得した個人情報は、大会運営以外に使用することはありません。
- ・大会出場中の映像・写真・記事・記録等の新聞・インターネット等への掲載権は主催者に属します。